

盛岡市有機物資源活用施設の運営について

平成 24 年 8 月 27 日

玉山総合事務所

1 施設の概要

(1) 目的

家畜排せつ物を有機肥料として利用し、豊かな土づくりと化学肥料の削減により消費者の求めている安全な農作物の生産と、持続的な資源循環型農業を推進する。

(2) 整備施設

所在地	盛岡市玉山区玉山字小田沢 3 番 43 外 6 筆	
敷地面積	17,747 m ²	
施設規模等	施設規模	5,180.8 m ²
	計画処理量	3,000t/年
	計画堆肥販売量	約 1,100t/年
処理方式	堆肥の処理	1 次発酵舎：ロータリー機械により攪拌 2 次発酵舎：自走式攪拌機械により攪拌
	製品の状態	バラ及び袋詰め

2 施設の運営体制

職員1名、臨時職員3名で行い、繁忙期にあつては、さらに人夫を雇用し対応する。

また、運営については、平成24年度から平成26年度までは、直営で行うが、平成27年度を目標に運営主体について検討する。

3 処理手数料

牛ふん処理に要する経費を基に、盛岡市手数料条例に盛岡市有機物資源活用施設の処理手数料を次のとおり定めようとするものである。

手数料を徴収する事務	名称	金額
盛岡市有機物資源活用施設における牛ふん（畜産農業に係るものに限る。）の処理	牛ふん処理手数料	(1) 市民が自ら搬入する場合 1 トンまでごとに 500 円 (2) 市民から申込みを受けて市が収集する場合 1 トンまでごとに 2,000 円

4 収支見込

堆肥利用による資源循環型有機農業を推進するための施設として、成分の安定した堆肥を生産し、専業農家のみならず、産直出店農家・家庭菜園・教育施設での利用等幅広い利用用途に対応するため、バラ堆肥・200kg袋・12kg袋等、用途に応じた利用しやすい量と価格を設定することなどにより販売を促進し、収支均衡を目指し運営する。

平成26年度以降の収支目標として、原料受入3,000tの処理手数料225万円と製品堆肥1,100tの販売額1,335万円で収入合計1,560万円、一方生産費として、正職員を除いた人件費748万円・光熱費・自動車経費等812万円で支出合計1,560万円を見込んでいる。

5 事業スケジュール

平成25年1月に施設完成見込であり、平成25年2月から一部原料収集し調整運転を行い、平成25年度においても本格稼働時の5割程度の原料収集により試験製造のうえ、平成26年度から成分の安定した完熟堆肥の本格製造を開始する。